

編 集 後 記

「建設の機械化」誌の3, 4, 5月号の編集後記を読み返してみた。キーワードとして捉えてみれば「経済不況」「景気の底打ち」「国債格付」と厳しい文字が毎月百花繚乱のごとく立ち並んでいる。

さて今月はとペンを持ってみると、やはり庶民の実感からは程遠い「景気回復基調」と挙げたくってしまう。更に大事な法案審議という時に深慮を欠いた政府高官発言やら、個人情報漏洩と、うんざりしてしまう。

3月号に書いてある「グローバルな視点を持った指導者」の出現を望まずにはいられない。

ところが「指導者」「戦術」等々色々取りざたされてきたものの天王山に合わせてピタリとピークを持ってきたのがサッカーW杯日本代表チーム。彼等の活躍が熱いものを体の中へ吹き込んでくれた。「チーム一丸」「チームプレー」「集中力」「闘志」等々。こんな感動が手に入るん

だと久しぶりの感覚に感謝感謝である。ひょーとしたら日本経済も良い方向へ好転するのではないかとダブらせて期待してしまう。

先を読む監督の戦略と機を見る司令塔の作戦が必要だとの日本中の想いが政治、経済を好転させる力となることを祈るばかりである。

さて今月号の中身は編集会議の席上で「トンネル特集か？」と質問された。確かにトンネル関連の報文が多い。偶然だ。編集委員としては日本経済、建設事業に求められているコスト縮減に対応した「再利用」「リニューアル」「長距離掘進」「急速施工」を扱った報文、周辺環境(騒音、振動)対応を扱った報文、安全対応を扱った報文と、なかなかバランスのとれた構成になっていると見てもらえたら幸いと考える。

ご多忙の中、執筆頂いた執筆者の方々に心から敬意を表すとともに、この場をお借りしてお礼を申し上げます。(高村・岩本)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
中野 俊次	本田 宣史
両角 常美	渡邊 和夫

編集委員長

橋元 和男

編集委員

久保 和幸	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
池田 哲郎	国土交通省
窪 豊則	農林水産省
江藤 祐昭	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
坂田 誠治	首都高速道路公団
門本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
渡辺 博明	大林組
百瀬 千鷹	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
矢仲徹太郎	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新キレラ三菱
荒井 政男	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
斉藤 徹	日本鋪道
館岡 潤仁	ハザマ
緒方浩二郎	日立建機

8月号予告

- ・大規模アスファルトフェーシングダム工事への情報化施工の適用—北海道電力京極発電所上部調整池建設工事—
- ・大規模塔状構造物建設向け「スリップアップ工法」の開発—関西電力舞鶴発電所10万t級石炭サイロ建設工事における適用例—
- ・高速ベルトコンベヤ式撤きだし装置における緑化ブロック内の基盤材充填方法—関西電力舞鶴発電所物揚げ岸壁緑化ブロック充填工事による適用例—
- ・亀裂性岩盤を対象にした動的注入工法「ダイナプレス工法」の開発
- ・廃棄物最終処分場の遮水シート破損箇所への補修工法「スプレッド工法」の開発
- ・ウッドファイバーフィニッシャの開発

No.629 「建設の機械化」 2002年7月号

〔定価〕1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成14年7月20日印刷

平成14年7月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; FAX (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

建設機械化研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

北海道支部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8

東北支部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1

北陸支部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5

中部支部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26

関西支部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27

中国支部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22

四国支部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22

九州支部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56

電話 (0545) 35-0212

電話 (011) 231-4428

電話 (022) 222-3915

電話 (025) 232-0160

電話 (052) 241-2394

電話 (06) 6941-8845

電話 (082) 221-6841

電話 (087) 821-8074

電話 (092) 741-9380